

授業科目

臨床実習III (総合実習)

担当教員名 佐藤 成登志、玉越 敬悟	対象学年	4	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	11	時間数	495

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

臨床において障害を持った方に理学療法士として接する場合の基本的な態度を理解し実践する。
また、学内演習や臨床実習I・IIで学習した知識や技術を障害を持った方の評価に応用し、理学療法士となるための資質をさらに高める。

授業の目的

臨床実習I・IIで学習した内容を基に、さらに総合的な評価ができ、対象者に応じた理学療法プログラムの立案や実施ができる。場合に応じて再評価と理学療法プログラムの見直しができること。

学習目標

1. 臨床における理学療法の対象者に検査測定および評価を行う。
2. 臨床に関する他部門の職種から対象者に関する情報を収集し、総合的な評価に役立てる。
3. 検査測定において、信頼性の高い方法を習得・実践する。
4. 対象者に応じて選択した検査測定項目の妥当性を検証する。
5. 検査測定の結果を適切に記録し、他の情報と合わせて、対象者の全体像をまとめ理学療法の重点課題を解釈し記述する。
6. 対象者の特徴を考慮して、問題点を抽出し治療目標および治療方針。理学療法プログラムを立案する。
7. 臨床実習指導者の下で、対象者に理学療法プログラムを適用する。
8. 一定期間のプログラム適用後、再評価を行い、治療目標や治療方針・理学療法プログラムの見直しを行なう。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1,2	実習前オリエンテーション1回目・2回目	諸手続き、総合オスキーの説明、実習要項に沿った説明、注意事項	佐藤 成登志、玉越 敬悟
3-5	総合オスキー事前勉強会	総合オスキーに関する知識、実技	佐藤 成登志、玉越 敬悟
6-10	総合オスキーの実施	模擬患者の応じた評価および理学療法の実施	佐藤 成登志、玉越 敬悟 他
11-35	施設での臨床実習	施設でのオリエンテーションや患者情報収集	佐藤 成登志、玉越 敬悟 他
36-50	施設での臨床実習	施設でのオリエンテーションや患者情報収集	佐藤 成登志、玉越 敬悟 他
51-65	施設での臨床実習	施設でのオリエンテーションや患者情報収集	佐藤 成登志、玉越 敬悟 他
66-80	施設での臨床実習	担当者の初期評価、理学療法見学	佐藤 成登志、玉越敬悟 他
81-95	施設での臨床実習	担当者の初期評価、理学療法見学	佐藤 成登志、玉越 敬悟 他
96-100	施設での臨床実習	担当者の初期評価、理学療法見学	佐藤 成登志、玉越 敬悟 他
101-115	施設での臨床実習	担当者の初期評価、理学療法見学	佐藤 成登志、玉越 敬悟 他
116-130	施設での臨床実習	担当者の初期評価、理学療法見学	佐藤 成登志、玉越 敬悟 他
131-145	施設での臨床実習	担当者の初期評価、理学療法見学	佐藤 成登志、玉越 敬悟 他
146-160	施設での臨床実習	担当者の初期評価、理学療法見学	佐藤 成登志、玉越 敬悟 他

161-170	実習後セミナー	実習後の発表・討議	佐藤 成登志、玉越 敬 悟
---------	---------	-----------	------------------

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

成績評価は、実習指導者による評価を70%、学内実習セミナー・ポートフォリオ内容を30%とする。

履修上の留意点

病院・施設実習中は、臨床実習指導者の指示に従うこと。詳細は、実習前オリエンテーション時に配布する資料、臨床実習の手引きを参照すること。

オフィスアワー・連絡先

実習関係者メールアドレス：pt-jissyu@nuhw.ac.jp
メールでアポイント後に面談を行います。